

特集 在宅にいる子どもの摂食嚥下障害

子どもの嚥下障害について	田角 勝
摂食嚥下障害のある在宅の重度障害児の具体例	田村文誉
「食べられない子ども」に対する支援	綾野理加
支援学校での摂食指導について	阿部晴美
嚥下障害のある小児に対する支援—栄養からの観点	村松かおる
家族の支援—家族会の活動	山内京子

※都合により誌面が変更される場合がございます。

●編集名誉顧問

大田仁史 澤村誠志
米満弘之

●編集顧問

石川 誠 浜村明徳

●編集委員

栗原正紀(編集委員長)
伊藤隆夫 佐藤浩二
西脇恵子 山下裕子
渡邊愼一

●編集同人

浅海奈津美 有賀 徹
伊佐地隆 石松隆和
伊藤貴子 岩崎千佳
上菌紗映 生方克之
逢坂伸子 大越 満
太田秀樹 大武美保子
岡田しげひこ 乙坂佳代
加来克幸 寛 淳夫
加藤武彦 金子 寿
川越雅弘 木下康仁
桑山浩明 小林直樹
齋藤正洋 榊原次郎
座小田孝安 佐藤久夫
鈴木孝治 武原光志
玉垣 努 角町正勝
土井勝幸 野尻晋一
橋本美芽 長谷川幹
畑野栄治 半田理恵子
東川悦子 備酒伸彦
廣末ゆか 福田俊江
古屋 聡 丸山 泉
水間正澄 宮崎宏興
宮田昌司 村井千賀
村上重紀 森岡悦子
柳 尚夫 山川百合子
山口晴保 若林秀隆

●査読委員

稲川利光 梅津祐一
金城利雄 阪井康友
澤 俊二 野崎園子
備酒伸彦 松坂誠應
水間正澄

●編集後記

20世紀、「医療は命を助ける、病を治す」ことがすべてであった。医師も、看護師も強い使命感を持って全力投球してきた。この当時、入院治療は生活からの隔離であり、安静第一主義、一日中寝間着を着て過ごし、一度入院すると完治するまで同じ病院で治療を受けていた(病院完結型)。故に、一般的に地域住民にとって「身近にあるものであり、いつでも24時間診てくれ、いろんな検査ができ、調子が悪ければ点滴をしてくれ、頼めば入院までもさせてくれる」のが「良い病院」の条件ともなっていたようである。

昨今、入院患者の多くが高齢者(約7割が65歳以上)となり、一人の患者で多くの慢性疾患を抱えたり、潜在的に低栄養状態が存在し、病態が複雑化して病気が単純には治らなくなった。「高齢者は入院によって容易に廃用症候群をきたし、誤嚥性肺炎などの合併症を起こして入院が長期化し、ついには寝たきりになってしまう」ということが知られるようになった。つまりは「地域医療において高度に進歩した治療が生活につながらない」という、地域医療のあり方そのものが問われるようになった。しかも医療費の高騰は国の財政そのものを脅かすと言われるようになり、社会保障費の削減が重要な国策ともなっている。

そこで提示されたのが地域医療構想の策定である。国は都道府県に将来人口構造を考慮したうえで、地域の医療機関が具体的にどのような役割を担うのかを独自に取りまとめることを求めている。医療(介護も含め)費を抑制しながら効率的・効果的に質の高い医療・介護サービスが提供される体制づくりである。

従来の病院完結型を脱却し、地域の医療機関の明確な役割分担(高度急性期・急性期・回復期・慢性期という機能分化)と連携によって、安全・安心な地域生活につなげていくという生活の視点を取り入れた地域完結型医療提供体制への転換である。

現在、多くの都道府県(市町村)で調整会議が始まっている。しかし、公的・民間問わず、ほとんどの病院が経営多難な状況の中で、自院の利益のみにとらわれず、広い視野に立って、より良い地域医療を思考しながら、自院の目指す役割を明確化することは至難の業である。状況によっては病院機能の転換や病床の削減を強いられることになる。経営・運営責任者にとっては大きな苦難の時である。

従来からほとんどの公的病院が急性期医療を担ってきた一方で、経営難が故に回復期の「地域包括ケア病棟」を併設するという動きが浮き彫りになっている。病院完結型に逆戻りしている実情は地域医療構想の迷走を危惧させる。

地域における「公的病院」が担うべき役割はいかに？

編集委員 栗原正紀

第11巻第6号[通巻123号] 2016年6月15日発行(毎月1回15日発行)

地域リハビリテーション 6月号

1部定価(本体1,800円+税)
2016年年間予約購読料(12冊) 21,600円+税(送料弊社負担)

発行 | 株式会社三輪書店 代表者: 青山 智
(担当: 大島・木次谷)
〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷綱ビル
Tel 03-3816-7796 / Fax 03-3816-7756
URL <http://www.miwapubl.com>
郵便振替 00180-0-255208

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, ©2016, Printed in Japan

表紙・本文デザイン | 白井弘志(公和図書デザイン室)
印刷 | 三報社印刷(株) Tel 03-3637-0005
広告 | (株)メディカルブレーン Tel 03-3814-5980

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。